



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



中越地震から20年＊長岡震災アーカイブセンターきおくみらい＊おぢや震災ミュージアムそなえ館で学ぶ

防災への備え「20年前を知り今を知る」



住んでいる地域の断層について説明する飯川さん

9月3日、遠藤れい子は新潟県防災対連主催の研修会に参加しました。
中越大震災から20年
震災の記憶をつなぐ目的で中越メモリアル回廊がつくられました。長岡、小千谷、川口、山古志に震災遺構があり、震災の記憶と今後の備えを学ぶ記念館が設けられました。
今年の中越大震災から20年。「当時を知りいまを知る」テーマで、「長岡震災



そなえ館で説明を聞く

アーカイブセンターきおくみらい」と「おぢや震災ミュージアムそなえ館」を訪問し、マネージャーや防災士の方からお話を伺いました。両館とも震災当時の写真が飾られ、映像による追体験や震度7の揺れを体験できました。当時の避難所モデル、災害用食品や防災グッズなどが会場いっぱい展示されています。
あの時を思い出しました
停電で真っ暗な道路を怯

えながら、なんとか職場に出勤して日赤病院の被害状況把握し、被災した地域の方たちの受け入れ準備、停電で在宅医療が出来なくなった方の受け入れなど、必死だったことを思い出しました。でも3日くらいの記憶は飛んでいます。
これからに備える
防災グッズは進化しましたが、元日の能登半島地震の避難所などは中越地震の当時と変化がないように感じました。トイレの問題が大変重要だとの指摘もあり今後、改善を求めているかな

ければと思いました。展示される地形図で地学の専門家の飯川さんから断層の説明を受け、とても勉強になりました。
災害列島の日本。いつどこで地震が起こるかわかりません。平時のときこそ、落ちていた目で、しっかりと災害への備えを考えたいものです。



防災グッズの説明



災害時トイレの説明

市政報告会で要望伺う

各地の市政報告会に出ると10月6日投開票の長岡市長選挙と市政に様々な要望・意見が出されます。

合併地域の方からは、支所機能の縮小の問題点、人口減少が進み、農業や地元商店街や産業の

遠藤れい子の笑顔でファイト

人口減少が進み、農業や地元商店街や産業の



学校給食を無償にと訴える

和 Education を継続して。学校給食は無償に。子どもや若者が暮らしやすい街にと。皆さんの声を実現できるように、私も頑張ります。